

隼工新聞

学校活動紹介通信
2020 10月号

県内企業の魅力を知る 工業高校生のための県内企業説明会

十月六日、鹿児島県商工労働水産部産業立地課主催の県内企業説明会が本校体育館で行われました。この日は本校二年生とその保護者及び霧島高校の生徒ら約二百人が参加しました。生徒らは各ブースを巡りながら企業の情報を積極的に収集し、地元で働くための意欲や意識を高めました。

説明会は、地元企業で活躍する企業が仕事内容や魅力を発信する場として実施されています。会場には、製造関連企業十三社、IT関連企業二社、電気工事関連企業二社、建設関連企業三社、計二十社のブースが設けられました。説明会が始まると、生徒らは事前にアンケートで興味を持った企業ブースに足を運び、熱心にメモを取りながら担当者の話に聞き入っていました。各担当者も自社のパンフレットなどを見せながら、会社の業務の内容や魅力などを詳しく説明していました。



状況ですが、本校においては今回の企業説明会など、年間を通して様々な企業を考える機会があるため、本校卒業生のミスマッチは大変低い状況です。二年生は、今回の説明会を通して地元企業の魅力や自分の職業適性に対する考え方を更に深め、今後の進路選択に活かしてほしいと思います。

二年生は、今回の説明会を通して地元企業の魅力や自分の職業適性に対する考え方を更に深め、今後の進路選択に活かしてほしいと思います。

進路意識を高める 進路事前学習会

十月八日と九日に進路事前学習会が行われました。この会では、三年生の就職・進学試験に向けた面接練習の様子を一、二年生が見学し、実際の面接試験の雰囲気を体験します。学科ごとに緊張感溢れる面接会が行われていますが、この会での経験を通して、本校全生徒の進路意識が高まつたことを期待します。



希望進路実現を目指せ 進路激励会

十月五日、三年生の就職・進学者に対する進路激励会が実施されました。はじめに大迫校長先生が、「人間の仕事をA-I技術の普及によって機械に置き換わっていく時代。創造する力、コミュニケーション力など、A-Iが不得意なことが今後の職業人に求められる力であり、それらの力を本校でしっかりと身に付けたことを、試験でPRしてきてください」と激励しました。その後、インテリア科二年の恒吉さんが生徒代表として激励の言葉を送り、そ

の言葉を受けて電子機械科三年一年組の小野君が決意表明を行いました。コロナウイルス感染症の影響で、日程変更、オンライン試験など、今年は例年と異なる就職・進学試験ですが、高校生活三年間の学びや努力の成果を発揮し、合格を勝ち取ってほしいと思います。

ベーシック部門 上位独占! マイコンカラリー鹿児島県大会

十月三日、加治木工業高校でマイコンカラリー鹿児島県大会が行われ、本校からはものづくり部が参加しました。この大会は、マイコンを組み込んだ自走式のモデルカーを生徒が独自に製作し、タイムレースを行うもので、プログラム力、アイディア力などを競います。競技は、アドバンスクラス、ベーシッククラス、カメラクラスが実施されます。本校からは七人の生徒がベーシッククラスに出場しましたが、本校生徒が上位をほぼ独占しました。また、入部して半年しか経たない電子機械科一年一組の福岡君が見事に優勝し、九州大会への出場権を獲得しました。優勝おめでとうございます。

